



安らかに最期を迎えるためには…

古くから人間はいずれ来る死を自然の摂理として受け入れてきた。しかし、医療が進歩すると、もっと生かせたいと命を延ばそうとし、胃ろうが造られたり、中心静脈栄養といい太い血管に針を刺し、不自然に高カロリー輸液を点滴する。寝たきりになり口をポカーンと開けて魂を抜かれたように天井を見ている。手足が拘縮し、これは本人が望んだ人生だったのだろうか？医療は人のためになってからこそ医療であり、私たちは医療の意味を取り違えている。病気には様々な病態があり、同じ病気であっても人それぞれがその人の持つ精神力、体力、免疫力によって違う。我が『ケアホーム希望』の利用者は戦争を乗り越え、配給されたカンパン少量を食べ、水をたくさん飲んで生きてきた鉄人たちだ！食べたくない時は、口に運んだ食べ物を口からブツと吐き出す。無理に食べさせようとすると誤嚥し、肺炎になってしまうので中止する。家族も「もういいです。ただ、口がカラカラになり可哀想なので点滴だけは行ってほしい。何もせず痩せて辛そうな姿は見たくない」と…。栄養不足から床ずれが酷くなりその処置をすることを見れず「病院に行ったらこんなことにはならなかった」と思う家族もいた。今は福祉用具が進歩し、床ずれ防止のマットも多種多様にある。更に介護の質も高まり、骨にまで達するような酷い褥瘡は少なくなった。



医療の問題だけではなく、看取りに関わる人たちの気持ちや関わり方一つで本人の苦痛緩和にも繋がる。「手を握る」「声掛ける」「触れる」等、本人の不安を取り除くことで穏やかに逝くことができる。最期を看取るではなく、最期を迎えるまでの関わりが大事であり、本人やその家族に「ケアホーム希望のスタッフに看取られて良かった」と思ってもらえる関わりができるよう私たち職員は日々の介護に精進していきたい。



ねえちゃん。
ほら、桜が満開だよ。

満開の桜も見た。Kばあさんが弊社のサービスを利用し始めてからもう4年以上の長い付き合いだ。だからKばあさんのことはスタッフみんなが良く知っている。歌が大好きで、寝てても音楽が聞こえると大きな声で歌う。

人の命は尊い。だからこそ1日1日を大切に生きる！

Kばあさんは、先月の3月が95歳の誕生日だった。

職員がKばあさんの大好きな特大のデカプリンを作り、みんなでお祝いした。夜には好物のまぐろも食べ、みんなから祝ってもらい、家族も大満足。誕生日の翌日からは食べ物、飲み物を口にせず、1日点滴を500ml。時々呼吸が苦しくなるので鼻から酸素をしている。毎日家族の面会があり、寝ている時間も長いけど声掛けには「ええよ」等、言葉を口にする。



春が来た～春が来た～
どこに来た～♪

いい気持ちで
寝れるよ

妹さんと娘さんが一緒に歌ってくれました

桜満開！ 笑顔満開！！

まだ5分咲き
かしらね？

わたしは
桜よりアイスのほうが
いいですね(笑)

お~い！
桜きれいだね~
って言ってるの
聞こえてる??

私たちの花見は
まだ 咲いてないわね

みんな元気！
こりゃ 桜も負けちゃい
ますねえ~

まだちょっと
寒い...

お誕生日おめでとう ございます！

最近 床ずれが
できてきたから
円座のクッションの
プレゼントは
ありがたいよ！

祝 89歳

祝 93歳

明日、おしゃれを
してくるわね

お誕生日
おめでとう！

ありがとう

祝 91歳

元気な赤ちゃんを産んで 戻って来ました！

2人目
産みました！

5月より
復帰します

保育園
楽しみ...

出産・育児のためお休み
していましたが復帰します！
どうぞよろしくお祈りします。

新規利用者ご紹介

S おばあちゃん 95歳

転んで骨折してしまい今月から
ケアホーム希望を利用すること
になりました。

我が家の自慢の
大きな 椿 だよ